

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こばんはうすさくら松本白板教室		
○保護者評価実施期間	令和 6年 9月 17日		～ 令和 6年 9月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28名	(回答者数) 21名
○従業者評価実施期間	令和 6年 10月 17日		～ 令和 6年 10月 24日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和 6年 11月 29日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	10年以上の保育士実務経験者のほか作業療法士、音楽療法士、児童指導員が在籍しており専門性の高い支援を行っています。	支援現場では当施設の基本理念に基づいた上で支援に当たるスタッフに支援方法などを一任する事で支援員がのびのび仕事ができるよう取り組んでいます。	スタッフに意見を聞き、取り入れる事でより仕事がしやすくなるよう取り組んでいます。
2	児童発達支援では経験豊富な保育士が担当しており、視覚支援やお口の体操、微細運動、粗大運動を中心に専門的支援も実施しています。	お口の体操では子供が好きなキャラクターの名前で発語を促したり「挨拶をしています」「ズボンを履いています」など場面のイラストを提示し言葉を習得しています。 5領域を意識した療育に取り組んでいます。	今の取り組みにより良い効果が表れているので引き続き継続していきます。
3	放課後等デイサービスでは作業療法による専門的支援とビジョントレーニング、ソーシャルスキルトレーニング、微細運動、音楽療法を取り入れた粗大運動を行っています。	個々の心身の様子を見ながら状況に応じた対応をしています。協調性を養い一人ひとりの表現スタイルを尊重したSST様式と自由なディスカッションの取り組みを行っています。	今の取り組みにより良い効果が表れているので引き続き継続していきます。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	弱みではありませんが人材確保において苦慮しています。また、療育支援の場に長く携われる支援員の育成が必要と考えます。	人材確保においては療育に対して志の高い人材の発掘が容易でない現状があり優秀な人材の確保にはコストが掛かります。人材育成では賃金の改善、仕事のやり甲斐を感じる職場環境の整備、職員の教育(スタッフ間のコミュニケーション等)とを考えています。	賃金改善においては処遇改善費にて都度給与水準を上げていますが、より良い給与水準(賞与)職場環境などの全般的な改善を行う上で事業運営の健全化が必要と考えます。コロナ過以降、事業の運営はひっ迫しており思うような改善が出来ません。基本報酬の大幅なUPが必要と感じています。
2			
3			